

令和4年度 栄野小学校経営方針

京都市立栄野小学校
校長 小林 宏樹

〈教育理念〉

「子どもを中心に据え、学校・保護者・地域が一体となり、すべての子どもが安心して学ぶことができる」

1. 学校教育目標

○自ら学び、考え、心豊かに、未来を拓く子どもの育成

2. 本年度の経営の重点

○道徳教育を基盤にした学校づくり

3. めざす学校像

○子どもが通いたい、保護者が通わせたい、子どもの居場所があり、よさが發揮できる
教職員の一人一人のよさを生かせる

4. めざす子ども像

○自らすすんで行動できる子 ○よく考え判断できる子 ○人、もの、時間を大切にする子
○最後まであきらめずにやりとげる子

5. めざす教職員像

○自ら学び続ける、豊かな人間性がある、協調性がある、信頼される、率先垂範・凡事徹底

6. 育成したい資質・能力

○自己管理能力 ○人間関係形成力 ○課題解決力

7. 重点指導方針

「確かな学力」の育成

- ・学びの集団づくり
- ・基礎基本に関わる知識技能の習得
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・子どもの特性に応じたきめ細かな支援

「豊かな心」の育成

- ・「考え、議論する」道徳科授業の推進
- ・創造性と豊かな情操を培う
- ・規範意識の高揚
- ・多様性を理解する教育の推進
- ・支え合い高め合う集団づくり

「健やかな体」の育成

- ・運動能力及び体力の向上
- ・新しい生活様式を踏まえた身心の健康の保持増進
- ・自己管理能力の向上
- ・危機管理意識の高揚
- ・食に関する教育の推進

8. 本年度の重点取組

○学力向上の取組

- ・「わかる」「できる」授業の実践
- ・学級・学年の支持的風土に支えられた集団づくり
- ・「全国学力・学習状況調査」「ジョイント・プレジョイントプログラム」を活用し、結果分析を踏まえた授業改善
- ・「生徒指導の三機能」を位置づけた授業の実践
- ・G I G Aスクール構想の下、I C Tを活用した授業改善
- ・デジタルドリル等を有効に活用した個別最適な学びの実現
- ・学校図書館の活用と読書活動の充実
- ・家庭学習の定着

○英語教育の充実

- ・デジタル教科書の有効活用
- ・Can-Do リストの作成と活用
- ・評価のあり方の研究

○生徒指導の充実

- ・あらゆる教育活動の中で、「生徒指導の三機能」の發揮し、自己指導能力の育成
- ・いじめ、不登校の未然防止
- ・あいさつ、学習規律の徹底
- ・問題行動の早期発見、対応

○道徳教育の充実

- ・道徳科の授業の工夫、改善
- ・道徳科を軸としたカリキュラム・マネジメントの推進
- ・豊かな人間性を育み、共に学び合い、支え合い、心を耕す

○生き方探究教育の推進

- ・生き方探究パスポートを活用し、系統的な教育の連続性
- ・「生徒指導の三機能」と関連付けた生き方探究教育の充実
- ・個に応じたキャリア発達の支援

○人権教育の取組の推進

- ・子どもの命を守る
- ・一人一人の人権が尊重され、居場所のある、つながりのある集団づくり
- ・自己肯定感を高める取組

○総合育成支援教育の充実

- ・授業、学校全体のユニバーサルデザイン化
- ・指導支援の充実
- ・支援教育の理解と認識を図る
- ・家庭、地域、関係機関との連携

○健康安全教育の充実

- ・健康的な生活習慣の確立と食に関する指導の充実
- ・体力、運動能力の向上
- ・安全確保に関わる環境整備と安全教育の充実

9. 開かれた学校づくり

○地域に根ざした教育活動を展開し、地域に信頼され、地域とともに歩む学校

- ・地域の人材活用や人材発掘
- ・児童の体験活動の充実